平成19年度 **魚沼自然塾** 第１回レポート

平成１９年９月発行

国土交通省湯沢砂防事務所

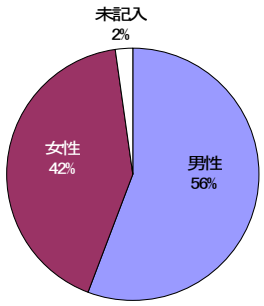
７月２８日土曜日、「魚沼三山の自然と八色原の地域づくりに学ぶ」をテーマに、第１回魚沼自然塾を水無川流域（南魚沼市）で開催致しました。

魚沼地方のみならず遠方からもご参加いただき、１１２名のみなさまと一緒に散策・トークを通して、「地域づくり」について考えました。

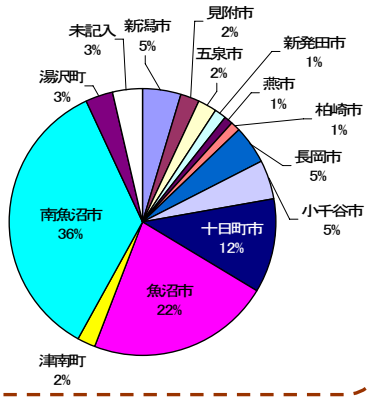
◇◆　プログラム　◆◇

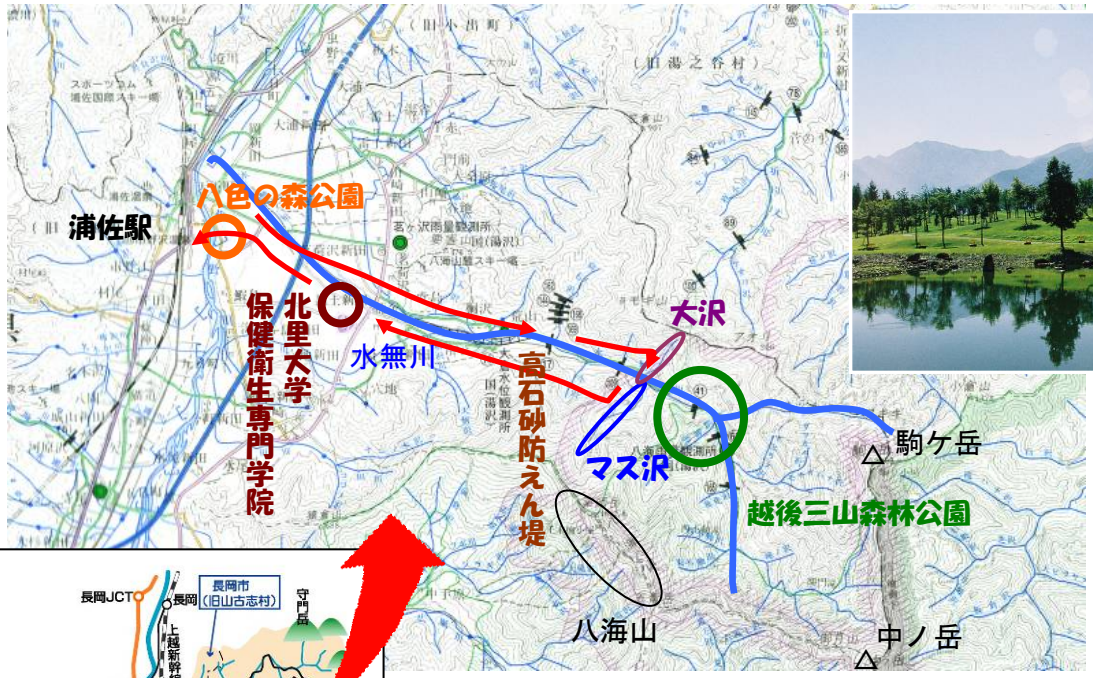
９：４５	八色の森公園にて開会 公園の説明など
１０：３５頃	高石砂防えん堤見学 越後三山森林公園散策、 八色スイカ試食
１２：２０頃	北里大学保健衛生専門学院にて 昼食
１３：０５頃	ご当地トーク
１４：２０頃	閉会

参加者の性別割合

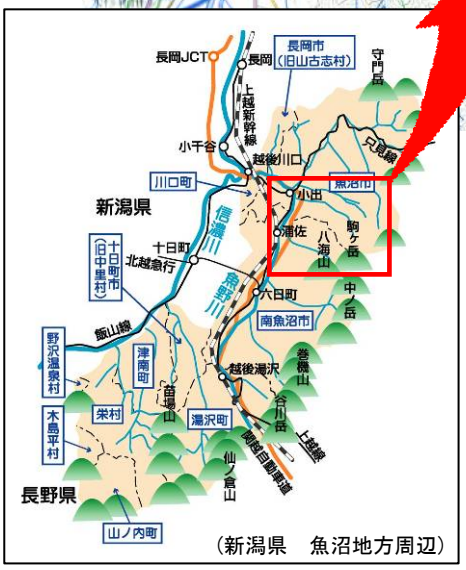


参加者の地域別割合





越後駒ケ岳と八海山



（新潟県　魚沼地方周辺）

受付風景

塾長挨拶

八色の森公園　野外ステージ：公園についてのお話

今年９月に全体オープンする八色の森公園は、奥只見レクリエーション都市公園の一つです。

学校教育課　南雲権治さん

この公園は県営の公園で、周辺には葡萄を植栽しています。取れた葡萄は毎年９月に「葡萄収穫祭」として来園者に配る、という珍しい公園です。都市と農村の交流をめざし、東京のお客さんを呼び込むことを考えてつくられました。公園内には、大自然も目玉の一つにした美術館や地元の野菜を味わえるレストラン、雪室があるワイナリーなどもあります。

正面には八海山と駒ケ岳が見えます。心地よい風の中、参加者の皆さんもリラックスしてお話を聞いていました。

お話を聞きながら資料を見たり、メモをとったり。

高石砂防えん堤と水無川流路工

高石砂防えん堤は、湯沢砂防事務所が戦後最初につくった砂防えん堤です。当時はコンクリートが高価だったため、えん堤の表面は石積みでつくられています。この砂防えん堤の下流から扇状地には長さ 2.8km の水無川流路工を整備しています。

高石砂防えん堤

水無川流路工

水無川の名前の由来は、下流部分で水が伏流し、水が無くなるからです。

川には楽しい面と、恐ろしい面があります。昔、この川には大きな岩がたくさんあり、私は淵でよく川遊びをしていました。魚もたくさんいました。川の左右には田んぼや畑があったのですが、大水で氾濫する度に荒れていました。大きな岩は、大水が出ると岩の上流側の川底がえぐられて上流に向かって転がります。

親水護岸で、水無川と砂防えん堤などについての説明を聞いています。

荒山地区在住の上村勝好さん
このえん堤ができたとき小学生でした。

昔も今も、子供達は川遊びが大好きです。

<<参加者の感想～高石砂防えん堤を見て～>>

- えん堤という言葉をはじめて知った。ダム(滝)のようなものが２段、３段とあるのは知っていたがなぜ必要なのか初めてわかった。（新発田市／女性）
- 戦後の復興時期に着工、完成したことに驚きを感じた。現在のように重機も無くほとんど手作業でおそらく犠牲もあっただろうに。（柏崎市／男性）
- 砂防えん堤は、防ぐと言う文字で止めるのが目的と思っていたが、土砂の調節をするという勉強になった。（南魚沼市／女性）
- 大きな石が印象的。最善の工法で工事を行い、地域が守られることはすばらしい。（津南町／女性）

越後三山森林公園：鉱山のお話など

水無川の上流にある越後三山森林公園では、かつて栄えた鉱山の話、住民グループ（八海山麓･水無渓谷研究会ほか）が取り組んでいる川の環境整備、体験活動などの話を聞きました。その後、遊歩道を使って自然散策をして、ゴールでは研究会の皆さんが特産品の八色スイカを用意してくださり、おいしくいただきました。

八海山麓･水無渓谷研究会
井口優さん

マス沢には大倉鉱山の露天掘りされた大きな穴が残っています。戦中戦後頃に鉱山の採掘が盛んになりました。浦佐駅からは鉱石を乗せた貨物列車が毎日のように出ていました。

鉱山が閉山されてからは、スキー場や登山道の整備がされました。自然保護や防災対策、鉱山の歴史など皆さんと一緒に考え、学びながら、地域の子供達と一緒に楽しい場所にしたいと思っています。

水無川（左）とマス沢の合流点

参加者の様子

整備された
遊歩道

大沢を渡るとゴールです。

<<参加者の感想～水無川上流部にて～>>

- 30 年前と比べると大きく変化したと思った。当時は車がやっと入るくらいの場所だった。これからも維持管理してもらいたい。（魚沼市／男性）
- 大倉鉱山があったこともはじめて知り、びっくりした。（南魚沼市／男性）
- ずいぶん山奥に素敵な場所があるなぁと思った。今度は家族で来たい。（南魚沼市／女性）
- こんな山奥にも少しずつ地域の人が楽しめるものが出来ていることはすばらしい。（新潟市／男性）
- スイカがすごく美味しかった。山の中でもすごく良い場所ができているのに驚いた。（南魚沼市／女性）

おいしい八色スイカにガブリ。思わず顔もほころびます。

研究会の皆さんは、スイカが一番おいしい温度に冷やして切って下さいました。

北里大学保健衛生専門学院：昼食・ご当地トーク

水無川のそばにある北里大学保健衛生専門学院で、学生と同じランチをいただきました。午後からは地域で活躍している方々をゲストに、水無川流域の地域づくりについてお話を伺いました。

＜トーク出演者（左側より）＞
司会の（ＦＭゆきぐに）山本局長、長井所長、上村勝好さん、木村明さん（北里学院副学院長）、上村賢司さん（地域づくり地元リーダー）、南雲権治さん

地域づくりへの思いをお話いただきました。
（左から木村明さん、上村賢司さん）

北里学院の学生さんにもインタビュー

＜＜お話の内容＞＞

南雲権治さん： 地域づくりを考えた時に、自分達が自分達の地域を見直して、最もいいものをつなぎ合わせて構想しようと思いました。それが医療･農業･遊び心の３本柱でした。

木村　明さん： 総合病院を中心に地域医療を進めていた大和地区。学園を誘致することにより、町は学生による地域活性化を期待し、学園は地域医療に根ざした教育を目指して進んでいます。

上村賢司さん： マス沢の砂防えん堤についてのワークショップに参加して、自分達のところは自分達で災害や環境破壊から守らなきゃならないという気持ちが地域の間で高まってきました。

上村勝好さん： 八色の森公園を管理していますが、ここには学生との交流もあります。私どもの代ではなくて、孫の代まで安心して生活できる地域づくりをしたいです。

真剣な表情の参加者の皆さん

トークの途中では、質問や参加者の感想も伺いました。

会場の一角にはキッズコーナーを用意しました。

＜＜参加者の感想～「地域づくり」について思ったことは？～＞＞

- 私の地域にも応用するよう提案等行いたい。（小千谷市／女性）
- 地域づくりには、いろいろな人の手や知恵が必要なのだと感じた。（南魚沼市／女性）
- 他の地域をまねするだけではなく、いい所は取り入れながら、その場所の特色を生かした地域づくりをしていって欲しいと思う。（南魚沼市／女性）
- 森づくりをしていますのでとても参考になった。（見附市／女性）
- 地域づくりには行政も積極的参加をしてほしいと思う。（南魚沼市／男性）

編集後記

今年度第１回目の魚沼自然塾でしたが、大変多くの方にご参加いただき、ありがとうございました。
また、開催にあたって多大なご協力をいただいたたくさんの地元のみなさまにも感謝いたします。
次回は９月８日の開催を予定しています。中津川流域周辺の自然と特色ある地域づくりについて皆様と一緒に考えたいと思っています。

お問い合わせ先：国土交通省 湯沢砂防事務所「公開講座事務局」
ＴＥＬ：０２５－７８４－２０７３　ＦＡＸ：０２５－７８４－２４４１
ホームページ：http://www.hrr.mlit.go.jp/yuzawa/